

# 支援だより

平成26年度 第4号  
平成26年7月16日  
神奈川県立中原養護学校  
支援連携グループ



あっという間に一学期も終わろうとしています。楽しい夏休みももうすぐですね。  
さて今月の支援だよりの内容は以下の通りです。

1. GL(グループリーダー)コーナー
2. コラム  
プール指導について～理学療法士・本杉先生  
PC教室と授業紹介～IT支援・伊藤先生

## 1. 支援GL(グループリーダー)コーナー

今回は、スキューバダイビングからチームの大切さの話に無理矢理つなげましたが、正直なところ支援グループだけでなく、全教員がチームで動いていく大切さを感じていると思います。ところで、支援グループは、各地区(といっても数は限られますが)の自立支援協議会に参加しています。自立支援協議会は、障害のある人が暮らしやすい地域づくりを目指して、地域のさまざまな立場の人たちが集まって話し合う会議として、平成18年度に各区と市に地域自立支援協議会を設置されました。

区地域自立支援協議会では、障害者生活支援センターと保健福祉センターが共同で運営を行い、個別の支援会議から抽出された課題を共有するとともに、その解決に向けた協議を行っています。

これらの自立支援協議会には、支援グループの職員がそれぞれ分担して参加しています。

参加者は、各区の事業所、相談機関等福祉に関わる方達が、参加し、だいたい、全体会で情報交換や情報共有した後、各部会に分かれ、事例検討や各機関の連携について話し合われます。やはり連携がキーワードとなると共に、現実即した有機的な連携が課題となっているのです。

でも、顔と顔を合わせながら話し合うことで、速攻な解決につながらずとも、次へのステップになっていくと共に、課題解決へ向けて具体的に動き出すものでもあります。この、地域での顔と顔を合わせながらの話し合いが、チームということになるのでしょうか・・・と思いながら毎回参加し、話を聞いたり、相談をしたりしております。

## 2. コラム

理学療法士 本杉先生




### 《プール指導について》

7月に入り、真夏日が続いています。今回はプール指導についてお話ししたいと思います。プールは水の持つ特性を利用して、身体に様々な変化をもたらします。

## <水の特性>

メリット	浮力	<ul style="list-style-type: none"> <li>陸上では経験することが難しい姿勢を経験することができる。</li> <li>自由に動け、精神的開放感をえられる。</li> </ul>
	抵抗感	<ul style="list-style-type: none"> <li>筋力強化。</li> <li>肥満対策。</li> <li>呼吸能力が向上し、肺活量の増加につながる。</li> </ul>
デメリット	体から熱が奪われる	<ul style="list-style-type: none"> <li>第二次成長期（12～13歳頃）以前の子どもの体温コントロールは周囲の環境に左右されやすい。しかしその年齢に応じた適正刺激を経験することで体温コントロール能力を身につけ、防衛体力の向上につながることも可能。</li> </ul>

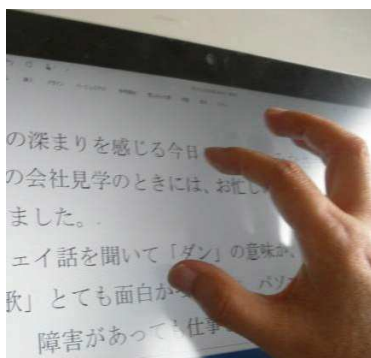
プール指導をより充実したものとするため、障がいによって指導目標を分けて支援方法を検討していくと良いです。以下に例を挙げます。

中枢神経疾患 (脳性麻痺など)	<p>麻痺のタイプによって目標が異なる。最終目標が独泳のこともあれば、浮力を利用した関節の変形や拘縮の予防、側彎対策の場合もある。</p> <p>《プール用具例》</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p>ヘッドフロート      星型浮き輪      浮き棒</p>
重度心身障がい	防衛体力の向上が目標。呼吸機能の改善、皮膚感覚をはじめとした全身への刺激、側彎対策など。
知的障がい	独泳が目標になることが多い。泳ぎの特徴はゆっくり・ゆったりすることが多く、滑らかで力強い動きを獲得し、陸上で歩行や運動につなげていくことが大切。

## 《PC 教室と授業紹介》

IT 支援係では ICT(情報通信技術)機器を使用した授業の支援を行っています。その一環でパソコン教室の ICT 機器の整備、設定や各種ソフトのインストール、授業で使うソフトや教材開発などを通して教員の支援を行っています。そこで今回はパソコン教室(本校)とそこでの授業の様子などを一部ですが紹介しましょう。なお分教室は住吉高校のパソコン室を利用させてもらっていますが、別の機会に紹介させていただきます。

IT 支援係



指で画面拡大

まずパソコン教室のハー

ド(機器類)の紹介です。Windows8搭載のタブレット型(スレートPCと言います)のパソコン8台とWindows7

搭載のノートPC3台、大型ディスプレイ(40インチ)、白黒とカラーのプリンター、Windows2008搭載のサーバーなどがあります。やはりWindows8のタブレット型のPCは使い勝手がとても良いと思います(8台しかないので不足気味ですが)。マルチタッチ画面ですので生徒の障がいの状態、個性、能力や場面に応じての入力方法がいろいろ選択できます。例えば指で直接触



れたり、細かいところはタッチペンも使えます。2本指を広げて画面を拡大したりも自由にできます。マウスが苦手な児童生徒は指やタッチペンを併用したり、またジョイスティック、トラックボール、猫の手(矢印キーでカーソルやポインターを動かせる)などを使用すれば、容易にダブルクリック、ドラッグなどの操作も可能になります。



指で入力

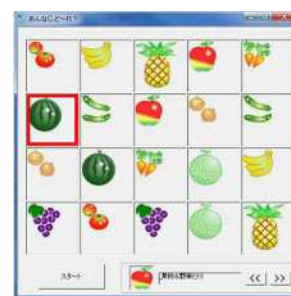


タッチペンで入力(タッチペンにはスポンジハンドルがついています)

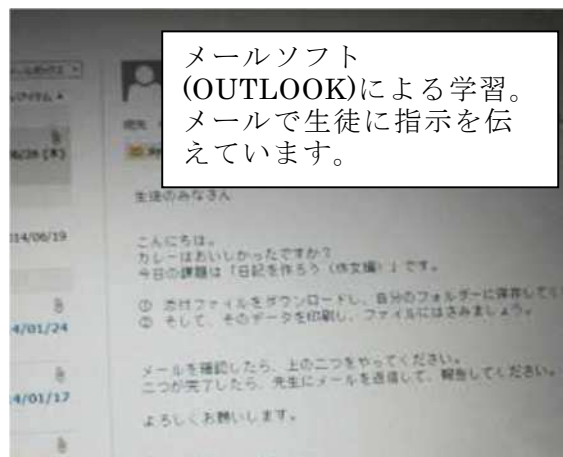


各種入力装置  
上はひらがなキーボード。下は左からジョイスティック、猫の手、トラックボール

次にパソコン教室でのいろいろなソフトを使った授業を紹介しましょう。情報の授業では、自己紹介カード、カレンダー、時間割作りなどを通してワード、エクセル、パワーポイントなどの使い方や活用方法を学んでいます。また校外・宿泊学習などの事前事後学習でネット検索を行い、情報収集の仕方なども学習しています。ほとんどの生徒はパソコンが好きで結構集中して授業に参加しています。でも生徒の中には、時には自分の世界にすぐに入り込んでしまったり、授業に関係ないアニメなどを見てしまう場合もあり、各授業担当者も授業に興味や関心を向けさせるような教材選択や進め方に工夫をしています。



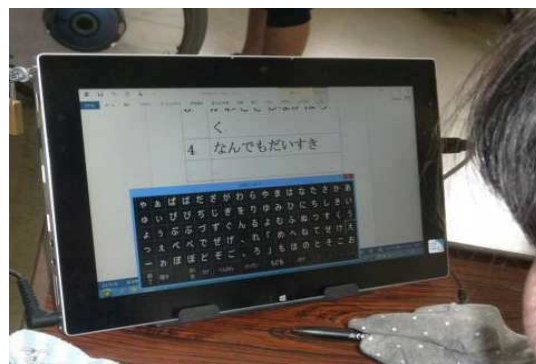
いくつかを紹介すると、ゲーム的な要素を取り入れたマッチングソフトを利用して認識力や理解力を



メールソフト  
(OUTLOOK)による学習。  
メールで生徒に指示を伝えています。

高め、ひらがな学習に発展させること考えているようです。パソコン教室にはメールサーバーが設置してありますので、教室内のパソコン同士で電子メールの交換ができるようになっています。それを利用して電子メールの交換方法、その際の注意点などの学習だけでなく、電子メールを通して生徒への指示を出し、生徒はそれを読んで自分で読み取りパソコンの作業をするというような授業の取り組みをしている授業担当者もいます。

また「50音スクリーンキーボード」という入力ソフト



(独自開発した教材)を使い、ローマ字入力が困難でマウスが苦手な生徒にも対応しています。このソフトはキーボードをカスタマイズできるので「ひらがな」の学習にも使用されています。このソフトを利用して、はじめて手紙を人に渡すことができた生徒がいます。それもラブレター(本校の職員にあてた)でしたが、ものすごく集中して取り組んでいたのが印象に残っています。パワーポイントを利用したプレゼンテーションの学習でも作品を作るだけでなく、発表の練習をさせ、実際にプレゼンをさせたりしています。



パワーポイントで作った原稿を読み発表練習をしています。



実際にプレゼンをしました。

なおここに紹介できなかったソフトや教材も多数パソコン教室のサーバー内にあります。ご家庭で利用できるものも幾つもありますので、興味がありましたら本校の支援 G までご相談ください。

## 3. イベント紹介

### ◎理学療法フェスタ

#### ・療育セミナー

■日時 8月30日(土) 13:00~16:00(受付 12:30~)

■場所 神奈川県立地球市民かながわプラザ

□講演1 新生児医療の現場から伝えたいこと

講師 豊島勝昭/神奈川県立こども医療センター新生児科科長・医師

□講演2 医療ケアを必要とするこども達の呼吸・栄養管理について

講師 井合瑞江/神奈川県立こども医療センター

重症心身障害児施設長・医師

小さく生まれたこどもたちの医療のこと、そしてそのこどもたちが成長して、学校・地域でいっしょに生活していくためにどんなことが大切なのでしょう。また、医療ケアを必要とするこどもたちの呼吸や栄養について、どのような方法があり、それらのメリットとデメリット、また医療現場ではどのようにそれらの方法が選択されているのでしょうか。

療育に興味のある方、保護者の方、療育・教育機関にお勤めの方、奮ってご参加ください。



神奈川県立地球市民かながわプラザ  
(あーすぷらざ)  
〒247-0007

横浜市栄区小菅ヶ谷 1-2-1

●JR 根岸線本郷台駅 改札出て左  
すぐ

※参加費無料・事前申し込み不要です。  
※どのセッションからでも参加  
できます。

※保育サービスはありませんが、  
車椅子で入場できます。

ご意見、ご要望は e-mail:nakahara01-sh@pen-kanagawa.ed.p.jp までどうぞ!